

基本目標 1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり

Ⅰ 基幹産業の振興

四季折々の自然や人々の心と体を癒す温泉を活かし、本町の基幹産業である観光業の安定した経営の実現と、創意工夫に満ちた意欲的な取組を支援します。

分野	主要施策	細施策
1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実 p. 7 ② 民間活力の活用 p. 9 ③ 名物料理・商品の開拓 p. 9 ④ 歴史的・文化的資源の発掘、活用 p. 10 ⑤ 観光資源の発掘と情報の収集・提供 p. 10 ⑥ 箱根ジオパークの活用 p. 11
	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	① 県立奥湯河原自然公園の整備 p. 11 ② 観光施設の活用 p. 11 ③ 清流沿いの遊歩道の整備 p. 12 ④ 宿泊施設の近代化促進 ⑤ 湯河原温泉の個性化・情報提供 ⑥ 万葉荘の活用 p. 12
	(3) 観光資源のネットワーク化	① 観光資源を結ぶルートの整備 ② 新規広域観光ルートの開発
	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供 p. 13 ② インターネットを使った観光情報提供の充実 p. 14 ③ 拠点観光スポットの整備・活用 p. 14 ④ 観光案内板・散策ガイドの整備 ⑤ 観光アドバイザー制度の導入 p. 14 ⑥ インバウンドの情報発信 p. 14
	(5) 観光人材育成と団体活動の活性化	① 観光サービス業研修会の支援 p. 15 ② 経営者研修会・交流会の支援 ③ 観光関連団体間の提携・交流強化 ④ 産業間の提携・交流強化
	(6) おもてなしの向上	① 観光ボランティアの活動の推進 p. 15 ② 観光意識の醸成 p. 15 ③ 国際観光地に向けた外国人観光客誘客活動 p. 16
2 温泉	(1) 温泉設備の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営 p. 16
	(2) 温泉の資源保護と有効活用	① 温泉の資源保護 p. 17 ② 温泉販路の拡大

Ⅱ 地域産業の振興

地域の特性を活かした産業間相互の連携を促進し、商業・サービス業、工業、農林業、漁業海業といった魅力あふれる地域産業の振興を図ります。

分野	主要施策	細施策
1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	① 商店街診断、相談の充実 ② 融資制度、利子補給制度の拡充 p. 17 ③ 歩道・街路灯、街路樹の整備 ④ 大型店・中型店進出への対応 ⑤ 空き店舗対策の支援 ⑥ キャッシュレス環境の整備
	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化 p. 17 ② 経営者研修会の開催
2 工業	(1) 工業基盤の整備	① 近代化融資制度・利子補給制度の拡充 ② 観光ニーズにあった製品の共同開発
	(2) 団体活動の活性化と人材育成（再掲）	① 商工業関連団体間の提携・交流強化（再掲） ② 経営者研修会の開催（再掲）
3 農業	(1) 農業生産基盤の整備	① 農道の整備 ② 広域農道の整備 p. 18 ③ 有害鳥獣による被害への対応 p. 18

3 農業	(2) 農業経営の高度化の促進	①耕作放棄地対策 p. 19 ②出作農地の活性化対策 ③新しい農産物加工品などの開発 ④農業経営の安定化の推進 p. 19 ⑤農業経営基盤強化資金制度、利子補給制度の拡充 ⑥農業の担い手の育成 ⑦中山間地域等直接支払制度の活用 ⑧朝市・直売化の促進 p. 19
	(3) ふれあい農園・遊休農地の活用	①ふれあい農園の規模拡大 p. 20 ②農業者と観光客との交流機会の拡大
4 林業	(1) 林業基盤の整備	①林道の整備 ②生活環境保全林の整備 p. 20 ③育林の指導援助 p. 21 ④特用林産物の栽培促進
	(2) 森林保全の担い手の育成	①森林保全の担い手の育成
5 漁業海業	(1) 漁業生産基盤の整備	①稚魚・稚貝の放流による栽培漁業の促進 p. 21 ②担い手の育成と確保
	(2) 漁業・海業の振興	①朝市の推進 ②海・浜の秩序ある利用計画の検討
	(3) 漁業経営改善の促進	①漁業経営の近代化・合理化 p. 22 ②設備の近代化促進 ③融資制度の拡充

III 勤労者対策の推進

あらゆる世代の雇用確保のため、関係機関と連携して就業機会の拡大と勤労者を取り巻く労働環境の改善に努めます。また、勤労者福祉の充実を図ります。

分野	主要施策	細施策
1 雇用対策	(1) 就業の促進	①就業機会の拡大 ②人材の育成 ③町内就業の促進 ④高齢者人材の活用 ⑤若年者、女性等による創業の支援
	(2) 労働環境の向上	①法律や制度の広報活動の強化 ②労働相談の充実 ③労務管理の適正化
2 勤労者福祉	(1) 勤労者福祉の充実	①勤労者福祉の充実 ②勤労者支援の充実 ③仕事と生活の調和

IV 地方創生の推進

湯河原らしい魅力のある地域社会を目指して、町と関係団体が一体となってまち・ひと・しごとの創生に取り組みます。

分野	主要施策	細施策
1 地方創生	(1) 就労環境の整備	①新たな雇用を生む産業の振興 p. 22 ②誘客につながるイベント開催 ③空き家・空き店舗の活用
	(2) 移住の促進	①移住促進のための居住環境等の整備 p. 22 ②湯河原の魅力を全国に発信 p. 22
	(3) 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備	①安心して出産できる環境の整備 ②子育ての不安解消のための支援拡充 ③若い世代が定住していける住環境の整備
	(4) 人口減少・高齢化社会に対応したまちづくり	①人口減少・高齢化社会への対応 ②健康寿命日本一の実現を目指す

--- I 基幹産業の振興 ---

1 観光

(1) 観光資源の拡充・整備

①イベントの充実	計画書 P34						
<p>○四季折々に魅力あるイベントを、時代のニーズにあわせながら、より一層充実を図り、集客力を高めます。</p> <p>○会場周辺の施設、交通アクセス整備などについて検討します。</p> <p>【参考となる指標】観光入込客数（日帰客・宿泊客 合計）</p>							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> <th style="text-align: right;">2020年度の目標</th> </tr> <tr> <td style="width: 33%;">平成 27 年 3,109 千人</td> <td style="width: 33%;">平成 28 年 3,421 千人</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">4,000 千人</td> </tr> </table>		現状の実績		2020年度の目標	平成 27 年 3,109 千人	平成 28 年 3,421 千人	4,000 千人
現状の実績		2020年度の目標					
平成 27 年 3,109 千人	平成 28 年 3,421 千人	4,000 千人					

事業 No. 1	事業名	夏季行事開催事業			
観光課	事業概要	湯河原の夏を彩る湯河原海水浴行事、やっさまつり、海上花火大会を、「湯河原やっさまつり海水浴行事実行委員会」に委託して開催し、夏季の観光客誘客を図る。また、花火大会を夏に2回、秋に1回実施し誘客対策を強化する。			
ソフト事業					
		2016（平成 28）年度	2017（平成 29）年度	2018（平成 30）年度	
○夏季行事を開催		→		→	
○秋季花火大会を開催		→		→	
決算額	34,221 千円	決算見込額	35,280 千円	予算額	35,280 千円

事業 No. 2	事業名	梅の宴行事開催事業			
観光課	事業概要	湯河原梅林内での多種多彩なイベントの企画・運営を梅の宴行事実行委員会に委託し開催する。観光客に細やかなサービスを提供し、リピーターを確保する。			
ソフト事業					
		2016（平成 28）年度	2017（平成 29）年度	2018（平成 30）年度	
○梅の宴行事を開催		→		→	
・全国梅サミットを開催			○実行委員による新企画の事業展開	→	
決算額	9,120 千円	決算見込額	11,133 千円	予算額	10,478 千円

事業 No. 3	事業名	武者行列行事開催事業			
観光課	事業概要	史実に基づいた春の観光行事として、例年4月第1日曜日に五所神社と桜木公園で出陣の儀、同区間で武者行列を実施し誘客を図る。			
ソフト事業					
		2016（平成 28）年度	2017（平成 29）年度	2018（平成 30）年度	
○出陣の儀及び武者行列を実施		→		→	
○大人侍鎧及び子供侍衣装を作製		→		→	
決算額	2,700 千円	決算見込額	2,800 千円	予算額	2,800 千円

事業 No. 4	事業名	湯河原梅林公園管理事業			
観光課	事業概要	「梅の宴」開催に必要な会場設備、料金徴収、入園券の印刷、仮設トイレの設置などを行う。また、渋滞緩和対策としてパーク&バスライド運行を委託する。			
ソフト事業					
		2016（平成 28）年度	2017（平成 29）年度	2018（平成 30）年度	
○料金徴収等を実施		→		→	
○仮設トイレの設置等を実施		→		→	
○パーク&バスライドを運行		→		→	
決算額	19,117 千円	決算見込額	21,075 千円	予算額	21,482 千円

-基本目標1- ゆがわら 2011 プラン (湯河原町新総合計画) 実施計画

事業 No. 5	事業名	もみじの郷行事開催事業		
観光課	事業概要	秋の誘客対策として、池峯「もみじの郷」を歩くハイキングや、お茶室体験の行事を開催し、奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知することにより、近郊周遊型の誘客を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○もみじの郷行事を開催				→
決算額	1,250 千円	決算見込額	1,250 千円	予算額 1,250 千円

事業 No. 6	事業名	宿泊促進事業		
観光課	事業概要	アンケートによる抽選での宿泊ギフト券、プレミアム付旅館利用券、舞・お座敷券の発行に対し助成を行う。また、見番寄席、落語一門会の事業を実施する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○宿泊促進キャンペーンを実施				→
○宿泊促進事業を助成				→
○お座敷券発行事業の継続				→
○落語一門会を実施				→
決算額	34,926 千円	決算見込額	39,293 千円	予算額 43,773 千円

事業 No. 7	事業名	地域振興事業補助金		
観光課	事業概要	灯かりの祭典事業など特に観光振興に寄与する商店街が行う事業について助成し、商店街の活性化を図ることで、観光振興に寄与する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○灯かりの祭典事業に助成				→
○「担々やきそば」普及促進に係る経費を助成		→		
決算額	800 千円	決算見込額	800 千円	予算額 800 千円

事業 No. 8	事業名	さつきの郷誘客事業		
観光課	事業概要	さつきの郷開催時にイベントの開催、来場者向けのバス運行、交通整理員を委託する。また、チラシを作成し、来場客数及び改善点の把握に努めることで、誘客効果の向上を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○チラシを作製				→
○交通誘導員を配置				→
○来場者プレゼントを実施				→
		○イベント実施・バス運行を委託		→
決算額	516 千円	決算見込額	870 千円	予算額 925 千円

事業 No. 9	事業名	圏央道開通誘客促進事業		
観光課	事業概要	圏央道の開通に伴い、新たな観光客を開拓するため、湯河原温泉観光協会に委託し、各種誘客促進事業を実施する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○誘客促進事業を実施				→
決算額	4,300 千円	決算見込額	4,300 千円	予算額 4,300 千円

事業 No. 10	事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業		
観光課	事業概要	駅周辺が一体となって活性化するため、「ぶらん市」を年4回実施し、にぎわいの創出を図る。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○「ぶらん市」年4回実施				→
決算額	800 千円	決算見込額	800 千円	予算額 800 千円

(1) 観光資源の拡充・整備

②民間活力の活用		計画書 P34
○観光施設に指定管理者制度を導入することで、民間の柔軟な発想と迅速な対応をフルに活用し、魅力ある施設運営を図ります。		
【参考となる指標】「独歩の湯」利用者数		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年 60,123人	平成28年 61,590人	70,000人

事業 No. 11	事業名	こごめの湯運営事務経費		
観光課	事業概要	日帰り温泉施設「こごめの湯」について、地元温泉場区を指定管理者として効率的な管理・運営を行い、管理運営費の節減に努める。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○指定管理者による管理・運営				→
決算額	5,063 千円	決算見込額	6,583 千円	予算額 5,462 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-②観光施設の活用】

事業 No. 12	事業名	観光会館運営事務経費		
観光課	事業概要	観光会館の管理・運営に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用しながら、町民サービスの向上と経費の節減を図る。近接している独歩の湯と同一の指定管理者に管理・運営させることで、効果的・効率的な運営に努める。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○指定管理者による管理・運営				→
決算額	25,656 千円	決算見込額	26,012 千円	予算額 26,262 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-②観光施設の活用】

事業 No. 13	事業名	独歩の湯運営事務経費		
観光課	事業概要	独歩の湯の管理・運営に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用しながら、町民サービスの向上と経費の節減を図る。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○指定管理者による管理・運営				→
決算額	9,306 千円	決算見込額	9,570 千円	予算額 9,530 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-②観光施設の活用】

(1) 観光資源の拡充・整備

③名物料理・商品の開拓		計画書 P34
○湯河原独自のおもてなしの一つとして、地元食材を提供することで地産地消を具現化します。		
○地元食材を利用した名物料理・地域特産品の開拓を、関係機関と推進します。		
【参考となる指標】特産品の認定数		
現状の実績		2020年度の目標
特産品の認定制度を検討予定		特産品を認定

基本目標1- ゆがわら 2011 プラン (湯河原町新総合計画) 実施計画

事業 No. 14	事業名	made in ゆがわら認定事業		
観光課	事業概要	魅力ある特産品を「made in ゆがわら」に認定し、湯河原らしさと付加価値を付けブランド化を図り、販路を拡大し、地域経済の活性化に繋げる。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○特産品の認定				→
決算額	55 千円	決算見込額	213 千円	予算額 570 千円

(1) 観光資源の拡充・整備

④歴史的・文化的資源の発掘、活用		計画書 P 34						
<p>○町内の歴史的・文化的資源を再認識し、新たな発見・発掘を図ります。</p> <p>○点在する観光資源に結びつきをもたせ、観光案内板・散策ガイドなどの整備を推進します。</p> <p>○文人墨客ゆかりのまちに住む素晴らしさや文学への親しみを感じる仕組みづくり等を図ります。</p> <p>【参考となる指標】湯河原文学賞への応募作品数</p>								
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 俳句 3,308 件、小説 122 件</td> <td>平成 28 年度 俳句 2,149 件、小説 129 件</td> </tr> </table>		現状の実績		平成 27 年度 俳句 3,308 件、小説 122 件	平成 28 年度 俳句 2,149 件、小説 129 件	<table border="1"> <tr> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>俳句 3,000 件、小説 180 件</td> </tr> </table>	2020 年度の目標	俳句 3,000 件、小説 180 件
現状の実績								
平成 27 年度 俳句 3,308 件、小説 122 件	平成 28 年度 俳句 2,149 件、小説 129 件							
2020 年度の目標								
俳句 3,000 件、小説 180 件								

事業 No. 15	事業名	湯河原文学賞事業		
地域政策課	事業概要	文化の発信地・湯河原温泉をアピールし認知度を高めるため、湯河原在住の作家・西村京太郎氏と俳人・黛まどか氏にご協力いただき、小説及び俳句の募集、表彰式を実施し、文化の振興及び文化の町としての観光イメージ向上を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○小説及び俳句を募集・表彰				→
○吟行会を実施				→
・吟行会の開催時期を秋に変更		・吟行会の散策場所を変更		
決算額	2,129 千円	決算見込額	2,173 千円	予算額 2,216 千円

⑤観光資源の発掘と情報の収集・提供		計画書 P 34
<p>○現存する歴史的な観光資源を有効活用するとともに、温泉場地区においては来訪者が懐かしさを覚えるようなまち並みの保全を図ります。</p> <p>○文化的資源(人・物・文化)の情報を幅広く収集し、提供することに努めます。</p>		

事業 No. 16	事業名	外国人向け情報発信促進事業		
観光課	事業概要	外国人旅行者(特に日系外国人)を町へ招聘し、外国向けに観光プロモーションを展開し、誘客を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○日系外国人の招聘				→
決算額	1,153 千円	決算見込額	5,200 千円	予算額 800 千円

事業 No. 17	事業名	最旬マガジン(フリーペーパー)発行事業		
観光課	事業概要	地域の情報誌を季刊で発行し、魅力ある観光情報を町内外へ発信する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
		○最旬マガジンの発行		→
決算額	— 千円	決算見込額	2,548 千円	予算額 3,289 千円

(1) 観光資源の拡充・整備

⑥箱根ジオパークの活用	計画書P34
○町内にあるジオサイトの保全を図るとともに、説明看板の設置やガイドの育成など、箱根ジオパークを観光資源や教育に活用するための環境整備に努めます。	

事業 No. 18	事業名	企画政策事務経費（箱根ジオパーク協議会負担金）		
地域政策課 ソフト事業	事業概要	箱根ジオパーク推進協議会によるジオサイト整備、ガイド養成、モニターツアー開催、広報などを行い、箱根ジオパークを通じて地域への愛着や自然保護への関心を高める。また、広域連携による観光産業の振興や、地域資源の発掘を図る。		
		2016（平成28）年度	2017（平成29）年度	2018（平成30）年度
○箱根ジオパークに係る事業を実施			<ul style="list-style-type: none"> ・ 不動滝に解説板を設置 ・ 全国研修会を実施 	➔
決算額	660 千円	決算見込額	660 千円	予算額 660 千円

(2) 観光施設の整備・充実、個性化

①県立奥湯河原自然公園の整備	計画書P35								
○県の公園計画に沿って、県立奥湯河原自然公園を魅力ある自然公園として整備していきます。 ○池峯「もみじの郷」の整備を実施します。									
【参考となる指標】「もみじの郷」行事でのお茶室利用者数									
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">現状の実績</th></tr> <tr><td>平成27年度 1,367人</td><td>平成28年度 1,061人</td></tr> </table> ➔ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th colspan="2">2020年度の目標</th></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">1,700人</td></tr> </table>		現状の実績		平成27年度 1,367人	平成28年度 1,061人	2020年度の目標		1,700人	
現状の実績									
平成27年度 1,367人	平成28年度 1,061人								
2020年度の目標									
1,700人									

事業 No. 19	事業名	湯河原自然郷整備事業		
公園課 ハード事業	事業概要	県立奥湯河原自然公園の池峯「もみじの郷」では、平成13年度からもみじの植栽やハイキングコースの整備を行い、自然とのふれあいができる場としての拠点的な活用を図る。		
		2016（平成28）年度	2017（平成29）年度	2018（平成30）年度
○枝打ち・間伐及び補植等維持管理				➔
決算額	2,672 千円	決算見込額	2,661 千円	予算額 2,661 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標3-I-2-(1)-①山間部の保全と活用、3-IV-3-(1)-②自然公園の整備】

(2) 観光施設の整備・充実、個性化

②観光施設の活用	計画書P35								
○指定管理者と協議しながら観光施設の運営を充実させ、誘客に積極的に活用していきます。 ○観光会館の機能の充実のため、建替えについて検討し、利用客の確保に努めます。 ○「温泉場ぶらりお休み処」を各種観光チラシ・マップに掲載し幅広く広報を行い、利用を促進します。									
【参考となる指標】「温泉場ぶらりお休み処」観光案内・休憩利用者数									
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th colspan="2">現状の実績</th></tr> <tr><td>平成27年度 899人</td><td>平成28年度 636人</td></tr> </table> ➔ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th colspan="2">2020年度の目標</th></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">3,000人</td></tr> </table>		現状の実績		平成27年度 899人	平成28年度 636人	2020年度の目標		3,000人	
現状の実績									
平成27年度 899人	平成28年度 636人								
2020年度の目標									
3,000人									

事業 No. 20	事業名	海水浴場整備事業		
観光課 ハード事業	事業概要	夏季における集客の1つである「海水浴場」について、台風により損傷した設備の修繕を行い、安全・安心して楽しむことができるよう整備する。		
		2016（平成28）年度	2017（平成29）年度	2018（平成30）年度
○警備本部等の修繕				
決算額	899 千円	決算見込額	—	予算額 —

事業 No. 11	事業名	こごめの湯運営事務経費	【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(1)-②民間活力の活用】	
事業 No. 12	事業名	観光会館運営事務経費	【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(1)-②民間活力の活用】	
事業 No. 13	事業名	独歩の湯運営事務経費	【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(1)-②民間活力の活用】	

事業 No. 21	事業名	温泉場ぶらりお休み処運営事業		
地域政策課 ソフト事業	事業概要	観光客が気軽に立ち寄り、休憩場所の提供や観光ボランティアによる案内を行うことにより、湯河原温泉の「おもてなしの心」を発信する拠点として運営する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○維持管理				→
○乾燥除湿機を導入		○備品(棚)修繕		
決算額	483 千円	決算見込額	832 千円	予算額 832 千円
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(4)-③拠点観光スポットの整備・活用】				

(2) 観光施設の整備・充実、個性化

③清流沿いの遊歩道の整備 計画書 P 35

○千歳川・藤木川や新崎川の景観を活かした遊歩道の整備を河川管理者と協議し、促進します。

【参考となる指標】藤木川遊歩道整備事業による整備延長

現状の実績	➡	2020 年度の目標
平成 21 年度から平成 28 年度まで 549m		945m

事業 No. 22	事業名	藤木川遊歩道整備事業		
土木課 ハード事業	事業概要	「さつきの郷」、「梅の郷」、「あじさいの郷」、「紅葉の郷」を線で結び、自然と文化を総合的に楽しめるネットワークとして、藤木川の遊歩道の整備を県の施工により護岸整備と併せて実施。散策を楽しむ観光客の安全を図るためにも、早期整備を要望する。		
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○早期整備の要望活動を実施				→
・整備延長護岸 33m 歩道 21m		・整備予定延長 護岸 42m 歩道 53m		・整備予定延長 50m ・整備区間外整備予定延長 ライン工 11m
決算額	—	決算見込額	—	予算額 —

(2) 観光施設の整備・充実、個性化

⑥万葉荘の活用 計画書 P 35

○万葉荘を活用し、県の「未病」を治す取組と連携した健康づくりに着目した「ヘルスツーリズム」を提供するモデル事業を実施します。

【参考となる指標】万葉荘の宿泊者数

現状の実績	➡	2020 年度の目標
平成 27 年度 22,108 人 平成 28 年度 21,275 人		25,000 人

事業 No. 23	事業名	観光立町推進事業		
観光課	事業概要	「湯河原町観光立町推進計画」に基づき、町、町民、観光事業者、観光関係団体等が一体となって観光立町の実現に向けた施策を展開する。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○商品開発等を委託				→
○万葉荘を県から賃借(1年延長)		○万葉装を県から取得・運営 ○ファンゴ(温泉泥)を活用した事業を実施		→
○観光立町に向けた施策を実施				→
決算額	28,081 千円	決算見込額	12,670 千円	予算額 12,670 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(5)-①観光サービス業研修会の支援、基本目標 1-I-1-(6)-②観光意識の醸成】

(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

①観光イベント・施設情報の提供		計画書 P36
○イベントや施設などの情報収集を強化し、インターネット、ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)、新聞・雑誌などのあらゆる媒体を活用した観光客への宣伝活動をしていきます。		

事業 No. 24	事業名	駅前LED広告掲出事業		
観光課	事業概要	(株)湯河原総合情報センターが所有する駅前大型LED表示装置を媒体として、湯河原町の広告などを掲出し、町民への周知、観光客へのイベント等の広報の充実を図る。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○広告等を掲出				→
決算額	2,488 千円	決算見込額	2,500 千円	予算額 2,500 千円

事業 No. 25	事業名	西さがみ地区観光フェスティバル宣伝事業		
観光課	事業概要	小田原・南足柄・箱根・真鶴・湯河原の2市3町で、「西さがみ」として観光展、キャラバン等の開催や共同パンフレット作製及びポスター宣伝を実施する。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○観光展、キャラバン等を開催				→
○共同パンフレット等を作製				→
決算額	1,000 千円	決算見込額	900 千円	予算額 900 千円

事業 No. 26	事業名	ポスター観光宣伝事業		
観光課	事業概要	旅館協同組合、観光協会、商工会などの各種業界の会員などで構成する「湯河原温泉宣伝推進委員会」へ、湯河原温泉の観光客誘致ポスターの作製を委託する。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○ポスターを作製				→
決算額	1,000 千円	決算見込額	1,000 千円	予算額 1,100 千円

事業 No. 27	事業名	街歩き情報配信サービス促進事業		
地域政策課	事業概要	街歩き観光・防災情報配信アプリ「ココシル湯河原」を使用し、お店の情報や目的地までの道案内など町内の観光情報を配信し、観光客へ情報提供する。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○システム開始		○システムの運用管理		→
決算額	454 千円	決算見込額	454 千円	予算額 454 千円

(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

②インターネットを使った観光情報提供の充実	計画書 P36
○最新の情報を提供し、多様な観光ニーズに応えられるよう、ホームページの充実に努めます。	
【参考となる指標】観光入込客数（日帰客・宿泊客 合計）	
現状の実績	
平成 27 年度 3,109 千人	平成 28 年度 3,421 千人
2020 年度の目標	
4,000 千人	

事業 No. 28	事業名	誘客宣伝事業		
観光課	事業概要	大手旅行情報誌のインターネットを活用した観光PRを展開する。また、新聞等へ各種イベントの広告掲載、イベント来場者や誘客キャラバンにおいて、宣伝グッズを配布し、誘客活動を展開する。		
ソフト事業				
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○インターネットによる観光PRを実施				→
○誘客キャラバン等の誘客活動を実施				→
決算額	7,350 千円	決算見込額	7,350 千円	予算額 7,350 千円

(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

③拠点観光スポットの整備・活用	計画書 P36
○温泉（湯けむり）をシンボルとして有効活用し、観光施設や標示物などに連帯性をもたせます。	
○温泉場地区や周辺地域の既存施設の拠点観光スポット化について研究していきます。	

事業 No. 21	事業名	温泉場ぶらりお休み処運営事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-②観光施設の整備・充実、個性化】		

(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

⑤観光アドバイザー制度の導入	計画書 P36
○観光の新分野進出・新事業展開、インバウンド事業の推進等に有効な指導及び助言を受けるため、観光アドバイザーを設置し、観光の振興を図ります。	

事業 No. 29	事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業		
観光課	事業概要	観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開などについて専門的な知識を持つアドバイザーからの助言を受けるとともに、SNSに対応したプロモーション活動を実施する。		
ソフト事業				
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○観光アドバイザーから提言を受け、事業を協議				→
			○インフルエンサーの情報発信	→
決算額	3,500 千円	決算見込額	5,780 千円	予算額 9,000 千円

(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化

⑥インバウンドの情報発信	計画書 P36
○東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会やラグビーワールドカップ 2019 の開催に向けて、新たな外国人観光客を獲得するための情報発信を行います。	

事業 No. 30	事業名	インバウンド情報発信推進事業		
観光課 ソフト事業	事業概要	外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語ホームページの拡充及び外国語パンフレットのリニューアル等を行う。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○インバウンドのための情報発信 ・HP及びパンフレットの充実 ・事業の協議				→
		・部会制による事業展開		→
決算額	2,000 千円	決算見込額	2,500 千円	予算額 2,100 千円

(5) 観光人材育成と団体活動の活性化

①観光サービス業研修会の支援		計画書 P37
○観光サービス業全体が「おもてなし」の意識で統一されるよう、関係団体などが開催するサービス向上のための研修会を支援します。		

事業 No. 23	事業名	観光立町推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-⑥万葉荘の活用、基本目標 1-I-1-(6)-②観光意識の醸成】		

(6) おもてなしの向上

①観光ボランティアの活動の推進		計画書 P37
○観光ボランティアの活動を広く支援するとともに、各種講座などへの参加を推進します。 ○新たな会員の募集活動の推進とともに、若い世代に積極的な呼びかけを行い、活動の活性化を図ります。		
【参考となる指標】湯河原観光ボランティア登録者数		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年度 38人	平成28年度 36人	40人

事業 No. 31	事業名	ボランティア推進事業		
地域政策課 ソフト事業	事業概要	ボランティア保険の加入や活動用ウィンドブレーカーなどを購入し、ボランティア活動の支援を行う。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○ボランティア保険に加入				→
○活動用ウィンドブレーカー等を購入				→
○合同研修・交流会の実施		○活動用エプロンを購入	○不足備品等の購入	
決算額	238 千円	決算見込額	227 千円	予算額 237 千円

(6) おもてなしの向上

②観光意識の醸成		計画書 P37
○おもてなしの心にあふれた観光地「湯河原」を目指し、町民が観光に興味を抱き、観光客に心のこもった案内ができるよう、各種イベントなどを通じて知識・情報の共有化を図ります。		

事業 No. 23	事業名	観光立町推進事業
【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-I-1-(2)-⑥万葉荘の活用、基本目標 1-I-1-(5)-①観光サービス業研修会の支援】		

(6) おもてなしの向上

③国際観光地に向けた外国人観光客誘客活動	計画書 P37
<p>○東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ 2019 の開催に向けて外国人観光客誘致のためのPR活動を実施する。</p> <p>○受け入れ先の整備状況を把握し、時代のニーズに合わせた施設・環境への改善を関係機関と協力し推進する。</p>	

事業 No. 32	事業名	新虎通り活用事業		
地域政策課	事業概要	東京都港区新虎通りで 2020 オリパラ首長連合が開催する「旅する新虎マーケット」に湯河原温泉の足湯ブースや町の名産品などを出展する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○足湯ブース、名産品の出展実施 (2月、3月)		○名産品等の出展実施 (4月から6月)		
決算額	1,468 千円	決算見込額	1,000 千円	予算額 — 千円

事業 No. 33	事業名	グローバル人材育成事業 (平成 29 年度より国内外親善交流推進事業に統合)		
地域政策課	事業概要	外国人観光客の誘致に向けて、国際交流に視野をもち、外国語で案内ができるサポーターを育成するため、在住外国人向けの日本語教室、日本人向けの外国語教室、国際交流事業をゆがわら国際交流協会に委託し、実施する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○外国人向け日本語教室 ○日本人向け外国語教室 ○各国文化体験		国内外親善交流推進事業に統合		
決算額	1,000 千円	決算見込額	—	予算額 — 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 4-I-1-(1)-②国際理解講座の開催】

2 温泉

(1) 温泉設備の適正管理

①町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営	計画書 P38
<p>○町営温泉集中管理システムを含む既存施設全体を見直し、効果的な施設改修計画を検討し、安定的な温泉供給を図るとともに、効率的な企業経営を推進します。</p>	

事業 No. 34	事業名	町営源泉コンプレッサー布設替事業		
温泉課	事業概要	老朽化の著しい揚湯用コンプレッサーを計画的に布設替えし、温泉の安定供給をはかるもの。既設コンプレッサーは予備として活用する。		
ハード事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
		湯河原第 128 号 (町営 1 号源泉) コンプレッサー布設替工事		湯河原第 180 号 (町営 7 号源泉) コンプレッサー布設替工事
決算額	— 千円	決算見込額	8,586 千円	予算額 12,000 千円

事業 No. 35	事業名	温泉送配湯管等施設改修工事		
温泉課	事業概要	老朽化した温泉送配湯管等施設の保守点検を行い、支障箇所を計画的に改修する事で、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努める。		
ハード事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○送配湯管等施設改修				→
○集湯ポンプ場保守点検				
決算額	11,772 千円	決算見込額	8,600 千円	予算額 18,500 千円

(2) 温泉の資源保護と有効活用

①温泉の資源保護	計画書 P 38
○各源泉所有者と協議・合意の上で揚湯量を調整し資源保護に努めます。	

事業 No. 36	事業名	温泉資源保護事業（揚湯調整）		
温泉課	事業概要	平成 22 年度から使用量の減少する 6 月から 9 月にかけて揚湯を停止し、資源保護に努める。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○3源泉の揚湯調整				→
		・揚湯調整見送り		
決算額	—	決算見込額	—	予算額 —

--- II 地域産業の振興 ---

1 商業・サービス業

(1) 商業基盤の整備

②融資制度、利子補給制度の拡充	計画書 P 40						
○商店を魅力ある店に改造するため、資金力の弱い商店に対し、経営者のニーズに合った資金融資制度、利子補給制度の拡充を検討します。							
【参考となる指標】 融資件数							
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <th colspan="2">現状の実績</th> </tr> <tr> <td>平成 27 年度 8 件</td> <td>平成 28 年度 6 件</td> </tr> </table> ➡ <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <th>2020 年度の目標</th> </tr> <tr> <td>0 件</td> </tr> </table>		現状の実績		平成 27 年度 8 件	平成 28 年度 6 件	2020 年度の目標	0 件
現状の実績							
平成 27 年度 8 件	平成 28 年度 6 件						
2020 年度の目標							
0 件							

事業 No. 37	事業名	中小企業振興資金預託金		
観光課	事業概要	商工業を営む町内中小企業の事業活動に必要な資金を、町が金融機関に預託した額の 5 倍の範囲で融資することにより、経営の安定化を図る。		
ソフト事業		平成 26 年 4 月 1 日以降、新規の中小企業振興の融資は行わない。既に融資しているものは、従前の例によるものとする。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○振興資金を預託				→
決算額	10,000 千円	決算見込額	6,000 千円	予算額 4,000 千円

(2) 団体活動の活性化と人材育成

①商工業関連団体間の提携・交流強化	計画書 P 41
○商工会を中心に商工業関連団体及び観光産業団体の提携を強め、交流が強化するよう支援し、商工業の活性化を図ります。	
○人材育成の支援策を検討します。	

基本目標1- ゆがわら 2011 プラン (湯河原町新総合計画) 実施計画

事業 No. 38	事業名	商工業振興事業補助金		
観光課	事業概要	地域産業の振興に寄与する産業祭、商業振興事業及び工業振興事業への助成を行い、商工業の活性化を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各種振興事業を助成				→
決算額	850 千円	決算見込額	850 千円	予算額 850 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-Ⅱ-2-(2)-①商工業関連団体間の提携・交流強化 (再掲)】

事業 No. 39	事業名	商店街振興事業		
観光課	事業概要	地域商品券の発行 (年 2 回) に対し助成を行い、不況対策と地域商店街の活性化を図る。また、商店街連合会が主催するイベント及び商店街振興事業に対し助成を行い、商工業の活性化を図る。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○各種振興事業を助成				→
決算額	10,124 千円	決算見込額	10,580 千円	予算額 10,580 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 1-Ⅱ-2-(2)-①商工業関連団体間の提携・交流強化 (再掲)】

3 農業

(1) 農業生産基盤の整備

②広域農道の整備		計画書 P 45
○広域農道小田原湯河原線の早期完成に向け、県と協議して事業を推進します。		
○広域農道の整備進捗に併せて、地域の活性化を図っていきます。		
【参考となる指標】広域農道小田原湯河原線の整備済み延長 (小田原湯河原地区)		
現状の実績		2020 年度の目標
平成 28 年度までに 1,232m を供用開始		3,186m

事業 No. 40	事業名	県営土地改良広域農道 (小田原湯河原地区) 整備事業		
農林水産課	事業概要	小田原から湯河原に至る広域農道を、県の施工により基幹的農道として整備することで、主要作物である柑橘等の振興を図るとともに、生産から流通までの一体的な整備と観光農業の振興を進め、地域の活性化を図る。また、災害時や緊急時など小田原方面への新たなルートとして利便性が高まる。		
ハード事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○農道開設工事を負担				→
・細沢の橋梁工事 (上部工)、吉浜側白沼田工区の道路開設工事及び用地買収を実施		・吉浜側白沼田工区と白沼田農道の交差点改良、雨水排水接続工事、黄金松工区開設		
決算額	11,659 千円	決算見込額	11,017 千円	予算額 11,017 千円

【他の細施策体系別計画への位置づけ：基本目標 3-V-1-(2)-③広域農道の早期完成】

(1) 農業生産基盤の整備

③有害鳥獣による被害への対応		計画書 P 45
○野猿やイノシシなどによる被害を防ぐため、国、県などの補助事業を活用し、湯河原町鳥獣対策協議会を中心に関係団体と連携を図りながら、対策を推進していきます。		
○人身に脅威を及ぼす恐れのある野猿の加害レベル低減のため、県と連携し対策を実施します。		
【参考となる指標】有害鳥獣の駆除数		
現状の実績		2020 年度の目標
平成 27 年度 152 頭	平成 28 年度 207 頭	150 頭

事業 No. 41	事業名	有害鳥獣等被害対策事業		
農林水産課	事業概要	町鳥獣対策協議会が行う野猿の追い払い活動に対する支援や、被害に困っている農家や町民に駆除用花火の配布を行う。また、猟友会にイノシシの捕獲について檻・わなの設置を依頼し、被害軽減を図る。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○鳥獣対策協議会の活動を支援				→
○駆除対策を支援				→
決算額	2,433 千円	決算見込額	2,645 千円	予算額 2,410 千円

(2) 農業経営の高度化の促進

①耕作放棄地対策		計画書P45
○農地の流動化を促進や、景観作物の普及・導入など、農地の有効利用等の対策を進めます。		
○耕作放棄地対策のための地域協議会の設立を検討し、併せて耕作放棄地解消の施策を実施します。		

事業 No. 42	事業名	農地保全活動事業		
農林水産課	事業概要	モデル事業として、耕作放棄地となっている農地を(8,666㎡を5年間)無償で借上げ、菜の花などの景観作物の作付けを行い、農地の有効利用等の促進を図る。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○景観作物の作付けを実施				→
決算額	462 千円	決算見込額	498 千円	予算額 426 千円

(2) 農業経営の高度化の促進

④農業経営の安定化の推進		計画書P45
○市場性の高い優良品種みかんの導入や野菜などの他作物の安定供給と農業経営の安定を図り、直売などによる消費拡大を推進し、経営の安定化に努めます。		
【参考となる指標】農業経営合理化振興補助金の申請件数		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年度 70件	平成28年度 75件	
		→
		60件

事業 No. 43	事業名	農業経営合理化振興事業		
農林水産課	事業概要	環境保全型農業推進、地域特産物開発、優良系統更新・改植、鳥獣害防止対策など農業経営合理化振興事業補助金交付要綱に基づき助成を行う。		
ソフト事業				
2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度
○農業経営合理化振興事業を助成				→
決算額	1,086 千円	決算見込額	1,410 千円	予算額 1,210 千円

(2) 農業経営の高度化の促進

⑧朝市・直売化の促進		計画書P46
○朝市や直売を通じて生産者と購入者の結びつきを強め、農産物の安全性や生産過程などの理解を深めることにより、農業の振興と地場産品の需要拡大を図り、地産地消を推進します。		

事業 No. 44	事業名	地産地消推進事業		
農林水産課 ソフト事業	事業概要	地場で生産される農産物等を地場で消費されるよう、専業農家を中心に生産者が直接地元で販売を行うことを支援することで、農家の経営意欲の向上と耕作放棄地などの解消を図る。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○地産地消推進事業を助成		→		
決算額	68 千円	決算見込額	200 千円	予算額
				200 千円

事業 No. 45	事業名	(仮称) ゆがわら道の駅整備事業		
地域政策課 ハード事業	事業概要	町民や国内外の観光客に向けた、地場産品の物販や情報発信拠点、道路利用者の休憩施設として「ゆがわら道の駅」を整備し、地産地消の促進、観光振興及び地域との連携を図る。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○基本構想及び基本計画		→		
○基本設計				
決算額	1,453 千円	決算見込額	6,796 千円	予算額
				19,173 千円

(3) ふれあい農園・遊休農地の活用

①ふれあい農園の規模拡大	計画書 P 46
---------------------	-----------------

○耕作放棄地を活用した市民農園の「ふれあい農園」について、農家などが自ら開設するよう推進、助言していきます。

【参考となる指標】 ふれあい農園の貸出区画数

現状の実績 平成 28 年度 160 区画	➡	2020 年度の目標 160 区画
--------------------------	---	----------------------

事業 No. 46	事業名	ふれあい農園振興事業		
農林水産課 ソフト事業	事業概要	ふれあい農園の維持管理を行い、町民に身近な農業体験の場を提供し、農業に対する理解を深めるとともに、農地の有効利用や地域の活性化を図る。また、耕作放棄地等の解消につなげる。		
		2016 (平成 28) 年度	2017 (平成 29) 年度	2018 (平成 30) 年度
○ふれあい農園の維持管理		→		
	・ 6 農園、160 区画	・ 6 農園、160 区画	・ 6 農園、160 区画	
決算額	1,692 千円	決算見込額	1,875 千円	予算額
				1,875 千円

4 林業

(1) 林業基盤の整備

②生活環境保全林の整備	計画書 P 48
--------------------	-----------------

○幕山地区の生活環境保全林区域について、自然とのふれあいの場所を創出するため、景観に配慮した保護、育成に努めます。

【参考となる指標】 幕山梅林の整備面積

現状の実績 平成 28 年度 7.2ha	➡	2020 年度の目標 7.2ha
-------------------------	---	---------------------

事業 No. 47	事業名	幕山保安林地帯整備事業		
農林水産課 ソフト事業	事業概要	湯河原梅林内の剪定・下刈・保安林内の散策路等の維持管理を実施し、梅林の保護、育成に努める。 湯河原梅林保全のため、ウメ輪紋ウィルスの検査を行う。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○剪定等及び維持管理を実施 ・ウメ輪紋ウィルス検査実施				→
決算額	13,479 千円	決算見込額	14,890 千円	予算額 15,890 千円

(1) 林業基盤の整備

③育林の指導援助		計画書 P48
○計画的な育林指導、援助によって、森林を地域ごとに順次整備していきます。 ○「森林づくり条例」に基づき施策を総合的に推進し、民間の森林所有者とも協働して適正管理し、整備・保全に努めていきます。		
【参考となる指標】地域水源林整備の5か年計画に基づく整備面積		
現状の実績		2020年度の目標
平成24年度から平成28年度までに 82.8ha 整備済み		平成29年度から2020年度までに 117.7ha 整備予定

事業 No. 48	事業名	地域水源林整備事業		
農林水産課 ソフト事業	事業概要	水源林エリア内の町有林・私有林について、水源かん養など公益的機能の高い森林づくりを目指すため、5箇年計画を策定し、その計画に基づき除伐・間伐や枝打ちなど森林整備の推進を図る。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○町有林等の除間伐及び枝打ちを実施				→
決算額	40,388 千円	決算見込額	48,593 千円	予算額 48,400 千円

5 漁業海業

(1) 漁業生産基盤の整備

①稚魚・稚貝の放流による栽培漁業の促進		計画書 P50
○漁業資源の増殖によって漁獲量の安定化・増大を図るため、稚魚・稚貝の放流を支援します。		
【参考となる指標】海面漁業漁獲量		
現状の実績		2020年度の目標
平成27年度 361.0 t	平成28年度 187.1 t	300 t

事業 No. 49	事業名	漁業経営改善調査研究費補助金		
農林水産課 ソフト事業	事業概要	人口魚礁での魚類繁殖保護のための調査及び研究を行い、稚魚・稚貝の放流に必要なデータを得ることで、漁業資源の増殖を図る。		
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○研究調査費を助成				→
決算額	100 千円	決算見込額	100 千円	予算額 100 千円

(3) 漁業経営改善の促進

①漁業経営の近代化・合理化	計画書 P50
○漁業経営に計画性を持ち、経営を近代化・合理化できるように支援します。	

事業 No. 50	事業名	漁業振興対策事業		
農林水産課	事業概要	安全で就労しやすい労働環境への改善、後継者の確保、漁業経営の近代化・合理化の支援及び漁業施設の近代化の促進に対して助成する。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○漁業施設近代化等を助成		→		
決算額	950 千円	決算見込額	950 千円	予算額 950 千円

-- IV 地方創生の推進 --

1 地方創生

(1)～(4)全体	計画書 P55
○平成 27 年 10 月に策定した「湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」に基づき、湯河原らしい魅力ある地域社会を目指して、町と関係団体が一体となって地方創生に取り組みます。	

事業 No. 51	事業名	地方版総合戦略推進事業		
地域政策課	事業概要	将来人口推計 (人口ビジョン) をもとに、官民など各分野が一体となって産業の活性化、移住促進、子育て環境整備や高齢化対策などを総合的に推進するための「地方版総合戦略」を策定し、PDCA サイクルによる改善、見直しを毎年行う。		
ソフト事業				
2016 (平成 28) 年度		2017 (平成 29) 年度		2018 (平成 30) 年度
○プランの執行管理		→		
○プランの内容の見直し及び改定		→		
○湯河原DMO検討会設置		○湯河原DMOの検討、登録		
決算額	70 千円	決算見込額	92 千円	予算額 272 千円

(2) 移住の促進

①移住促進のための居住環境等の整備	計画書 P55
○移住・定住者のための経済的支援の充実とPRの充実を図り、本町へ転入を希望する人たちに有効な情報を提供し、転入者の増加を図ります。	
②湯河原の魅力を全国に発信	計画書 P55
○年代に合わせたPR方法により、四季の彩りなどの魅力いっぱいの情報をタイムリーに発信し、観光客や定住者の増加につなげます。	

事業 No. 52	事業名	文化と観光による地域再生事業（ゆがわら趣味百選作成事業）		
地域政策課	事業概要	転入者向けに町内のサークル、各種団体等を紹介する「ゆがわら趣味百選 町民活動編」、観光客向けに「ゆがわら趣味百選 オプショナルツアー編」を作成し、町民活動の活性化、観光振興を図る。		
ソフト事業				
2016（平成28）年度		2017（平成29）年度		2018（平成30）年度
○「町民活動編」の発行・配布				→
		○「オプショナルツアー編」の発行・配布		→
決算額	627 千円	決算見込額	499 千円	予算額 —